

RI 第 2530 地区
県北第一分区
福島ロータリークラブ



2019-20 年度 右近八郎会長より会員の皆様へ (4月30日)

会長 右近八郎

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。4回目になりますが、一応休会中の最後の話題提供です。お付き合いください。4月30日夕方には休館中のクーラーリアンテにて、厳戒態勢の中で5月理事会を開催し、5月例会の開催について検討していただきます。なにとぞご理解いただき、ご協力をお願いします。

まず1週間経ちましたので、4/27時点での件の死亡率(100万人あたりの死者数)を紹介しておきます。日本2.95、イタリア440.5、フランス341.7、イギリス313.0、アメリカ167.6、ドイツ72.2、カナダ70.8となっています。ちなみにトップ3はベルギー619.0、スペイン497.0、イタリア440.5です。国内では先々週から、新規感染者数が有意に減少に転じており、さらに東北6県では未だに死者数は0となっています。

さて、これまで新型コロナウイルスによる感染リスクの話題を提供しましたが、最終回は技術系の軽い話題として単位の話をさせていただきます。これまでも様々なリスクに遭遇して様々な単位が出てきて戸惑った方も多いことかと思えます。特に放射線リスクのときはシーベルトやベクレルなど馴染みのない単位名が出てきましたが、単位を理解することは当該物理量を理解することであり、それはリスクそのものを理解することになります。リスク管理における技術的評価のためには物理量つまり単位の理解が欠かせません。ここでは個々の物理量ではなく、SI単位系(国際単位系)で使われる接頭語について紹介します。例えば長さのミリメートル(10^{-3} メートル)とか、情報量のメガバイト(10^6 バイト)のミリやメガのことを接頭語と呼んでいます。接頭語を小さい方から並べると、 10^{-24} から $\times 10^3$ 毎にヨクト(y、 10^{-24})、zepto(z、 10^{-21})、atto(a、 10^{-18})、femto(f、 10^{-15})、pico(p、 10^{-12})、nano(n、 10^{-9})、micro(μ 、 10^{-6})、ミリ(m、 10^{-3})、キロ(k、 10^3)、メガ(M、 10^6)、ギガ(G、 10^9)、テラ(T、 10^{12})、ペタ(P、 10^{15})、エクサ(E、 10^{18})、ゼタ(Z、 10^{21})、ヨタ(Y、 10^{24})となっています。

しつこく並べたのは、一番小さい接頭語と一番大きい接頭語が同じyとYであることを紹介したかったからです。宇宙論では最大の大きさである宇宙の果てを追究していくと、それは宇宙の始まりである最少の小ささを追究していくことになります。この領域になると宇宙論も哲学のようになるようですが、ここで紹介した最小ヨクトと最大ヨタが同じ文字で繋がっていることが、何か宇宙論の本質を示しているようで感慨深いものがあります。

このゴールデンウィークはいつもと違う記憶に残るものになると思われませんが、技術的な明るい兆しを理解していただき、有意義な大型連休をお過ごしください。一応最後になりますが、会員の皆さんへの話題提供とさせていただきます。